

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)											
アレンジ3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田範正			実務 経験	有	職種	アレンジャー、BGM制作				
授業概要											
DAWでの音楽制作が当たり前となった今、サウンドクリエイターには幅広い知識、スキルが求められます。各楽器の知識、多様なジャンルのアレンジ構造を学び、様々なオーダーに対応できるアレンジメントのスキルを身につけます。グレード対応授業となります。											
到達目標											
バンドサウンドの編曲、デジタルサウンドの編曲、DAWの範疇でのオーケストレーションを用いた編曲ができる。											
授業方法											
一人一台DAW(cubase)を使用し、講義内容を確認しながら進行する。適宜配布されるMIDIデータ等を参考にし、アレンジ作業、音色選択とエディットを行う。定期的に課題提出とそれに対するアドバイスをし、理解度を確認する。											
成績評価方法											
提出物60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内小テスト20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業態度20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)。											
履修上の注意											
ヘッドホン(イヤホン)、変換アダプター、USB等メモリーを持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、配布データ											
回数	授業計画										
第1回	ダイアトニックコードを使用し、Dr、Ba、Pf、Melodyで曲の骨組みを作ることができる。(グレード11対応内容)										
第2回	ダイアトニックコードを使用し、Dr、Ba、Pf、Melodyで作った曲をアレンジできる。(グレード11対応内容)										
第3回	ギターの仕事、奏法の講義。実習としてギターサウンドの打ち込みでの表現ができる。(グレード12対応内容)										

アレンジ3

第4回	ギターの打ち込みを使用したバンドサウンドのアレンジができる。
第5回	デジタルサウンドについての講義。実習としてデジタルサウンドのアレンジができる。(グレード13対応内容)
第6回	効果音についての講義。効果音を使用したアレンジができる。(グレード13対応内容)
第7回	歌ものにおけるストリングスアレンジについての講義。配布データを分析し音色の挿入ができる。
第8回	講師指定のコード進行、メロディーに対し、ストリングスアレンジができる。
第9回	第8回までの内容の理解度チェック小テストと解説。
第10回	モジュレーション系エフェクトの仕組みについての講義。実習としてそれらを活用した音色を作ることができる。(グレード14対応内容)
第11回	様々なエフェクトを用いた音作りができ、それらを使用したアレンジができる。
第12回	シンセサイザーの基本的な仕組みについての講義。実習として、それらを活用し音作りをすることができる。(グレード15対応内容)
第13回	シンセサイザーで作った音色をアレンジに取り入れることができる。
第14回	1~14で学んだ内容を活用したアレンジ作品の提出。
第15回	前期内容の理解度チェック小テストと解説。